

# シラバス詳細

タイトル「2024年度 人間学部」、カテゴリ「大学 人間-コミュニケーション社会学科」

## 科目情報

科目名	英文科目名
[[[文明と遺産 I ]]]	Civilization and Heritage I
他学部他学科履修可否	クラス
○	1
担当教員	実務経験のある教員による授業科目
貫井万里	
学年	開講学期
1年	後期
開講時期	曜日・時限
後期	火5
講義室	科目種別
E-304	講義
ナンバリング	科目区分
LIBR102131	専門関連科目
単位区分	単位数
選択	2
キャリア該当科目	備考
ディプロマポリシー	直接参照URL
2. 多様な社会を分析するために、コミュニケーション・スキル、情報リテラシー、社会調査スキルを活用することができる。 3. 社会問題の解決や新たな社会的価値の創造に向けて、立場の異なる他者と協働しながらプロジェクトを遂行することができる。	<a href="https://portal.bgu.ac.jp/lcu-web/SC_06001B00_22/referenceDirect?subjectID=216100056278&amp;formatCD=1">https://portal.bgu.ac.jp/lcu-web/SC_06001B00_22/referenceDirect?subjectID=216100056278&amp;formatCD=1</a>

## 講義情報

### 授業の目的・到達目標

#### 【授業の目的】

「文明と遺産I」の授業は、世界各国の様々な世界遺産を学ぶことを通して、世界の広さ、奥深さ、美しさを知るとともに、世界の文明がどのような形で発展し、継承されてきたのかを考察する。加えて、この授業を受けることで、単に知識を増やすだけでなく、NPO法人世界遺産アカデミーが主催する「世界遺産検定3級」（文科省認可）の合格を目指し、「総合旅行業務取扱管理者試験」（国家試験）の地歴分野に役立つ知識を獲得することができる。現在、1000を越した世界遺産は、文化遺産、自然遺産、複合遺産に分類され、年々増加しているが、3級で対象としているのは100の遺産であり、この講義を受け、予習復習を十分に行えば、「世界遺産検定」の3級合格は可能である。事実、2022年度は学内の3級受検者で88%以上の合格者を輩出している（2級については「文明と遺産II」で扱う）。試験前の対策も行う予定である。

#### 【到達目標】

- 世界遺産の基礎知識について説明できる。

- 授業で学んだ100の世界遺産について特徴や魅力を説明できる。
- 「世界遺産検定3級」合格できる程度の知識を身につける。

## 授業概要

1. イントロダクション / 世界遺産検定の説明
2. 世界遺産の基礎知識
3. 日本の世界遺産 (1)
4. 日本の世界遺産 (2)
5. 日本の世界遺産 (3)
6. 小テスト/人類の誕生と古代文明
7. ヨーロッパ(中世とルネサンス、大航海時代)
8. アメリカ、アフリカ、オセアニアの文明
9. アジア世界の形成と宗教
10. 12月の世界遺産検定試験対策の小テスト
11. 近代国家の成立と世界の近代化
12. テーマでみる世界遺産
13. 危機遺産、負の遺産
14. 世界の自然遺産
15. まとめ

## 各回の授業内容

### 学習演題 (予習・復習)

1. 予習時間 (各2時間程度)

第1回 シラバスを予め読んで理解する。

第2回～13回 授業前に必ず指定教科書の該当箇所を読み、該当箇所の世界遺産についての概要を理解しておくこと。また、同時に国名や地名などを地図で確認しておくこと。「事項事典」「地名事典」「人名事典」などは図書館を利用して事前に調べておくこと。

第14回～15回 前期の授業のノートとプリントを読み直し、学んだ内容をノートにまとめること。

2. 復習時間 (各2時間程度)

第1回 イントロダクションの内容を振り返り、前期の授業の流れを理解する。

第2回～13回 授業の内容をプリントやノート、教科書を見返して復習すること。

第14回～15回 前期の授業のノートとプリントを読み直し、学んだ内容をノートにまとめること。

3. 試験勉強

12月の遺産検定及び期末試験に向けて、11月から12月にかけて改めて教科書とノート、プリントを読むこと。世界遺産検定を受ける受講者は、参考書の『世界遺産検定公式過去問題集3・4級』を活用することが望ましい。

## 授業方法

1. 授業は教科書を基に、テーマ毎に講義形式で進める。
2. 毎回、授業内容の理解度を量るリアクション・ペーパーを課す。
3. 授業冒頭では、リアクションペーパーを使用しながら授業内容を振り返り、また評価に関してはフィードバックして、授業内で講評する。
4. 学期中に1回、グループ対抗クイズなど、復習とゲームを兼ねた学習方法を考案し、実施することを検討している。

## 成績評価の基準

授業参加度(20%)、2回の小テスト(20%)、定期末には試験を行う(60%)。実習、就職活動などで欠席した場合は、「公欠届」を提出すること。なお、検定試験の受験者は「チャレンジ点」を加点(10%)する。

## 教科書

『きほんを学ぶ世界遺産100 世界遺産検定3級公式テキスト(第4版)』世界遺産アカデミー(著) / 世界遺産検定事務局(監修) / マイナビ出版、ISBN : 978-4-8399-8268-3、2023年3月、定価 : 1760円(税込み)

## 参考書

『世界遺産検定公式過去問題集3・4級 2023年度版』世界遺産アカデミー(著) / 世界遺産検定事務局(監修) / マイナビ出版、ISBN : 978-4-8399-8265-2、2023年3月、定価 : 1485円(税込み)

## 実務経験のある教員による授業

### 実務経験の内容

-

### 実務経験の当該科目への活用

-